

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	624	し尿処理施設設備補修工事	会計	01	一般会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	04	衛生費
			項	02	清掃費
			目	03	し尿処理費
担当部課名	生活環境部浄化センター		細目	102	し尿処理及び施設維持管理経費
作成者氏名	藤森 法幸	連絡先	細々目	02	施設整備事業
		23-1179			

事業の計画・内容

整備 目的	第1. 2処理場の円滑な運転管理を図るため、各設備機器の補修工事を行う。	整備 内容	1 整備面積等	
			2 規模・構造	
			3 総事業費(千円)	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	7	7	7
	人件費合計(A)	50,400	50,400	50,400
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	68,250	71,300	0
	委託料			
	設備補修工事	68,250	71,300	
	その他			
合計(A+B)		118,650	121,700	50,400
③財源内訳 (千円)	特定財源	国県支出金		
		地方債		
		受益者負担		
		その他特財		
	一般財源	118,650	121,700	50,400
上記①～③に関する特記事項				

根拠法令・要綱等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に伴う留意事項第三  
関連事業

事業年度

開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度
------	----	----	------	----	----

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
受入貯留設備	0				
高度処理設備	0				
オゾン設備整備	0				
進捗率					

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標	
		平成	18年度
各設備機器の正常稼働	し尿の搬入量が減少する一方、浄化槽汚泥(農集汚泥等)の搬入量は年々増加してきている。今後も法的規制値をクリアして正常運転に努めて行く。	100%	

事業開始時からの状況変化等

当施設の第1処理場は、昭和59年に建設され20年以上経過しております。また第2処理場は、平成7年に竣工し早11年が経過しております。第1処理場の建物自体は、特に目立つ修復箇所は見当たりませんが槽内の一部劣化、場内にわずかな亀裂等が見られるのも事実です。各設備機器については、年事計画を立て設備補修を行っているところです。今後の課題としては、浄化槽汚泥対策として施設の増改築の検討、また第1, 2処理場の二施設があるため、維持管理経費の重複等が考えられ一括維持管理運転(1, 2処理場)の検討を行う。

評価	必要性	3	現在、第1処理場は直営、第2処理場は民間委託であるが、経費見直しによる直営か委託の検討をする。	総合評価 <b>D</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		